



塚越小だより



令和6年度 No.9
令和7年1月8日
蕨市立塚越小学校
048-442-2218



夢は大きく
ENJOY SMILE POWER



あけましておめでとうございます 本年もよろしくお願いいたします

校長 竹越 典子

新しい年を迎え、保護者・地域の皆様には、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。今年が皆様にとりまして、幸多き年となりますようご祈念申し上げます。また、旧年中は、塚越小学校の教育活動にご理解ご協力を賜りましたことに、心より感謝申し上げます。引き続き本年もよろしくお願いいたします。

いよいよ3学期が始まります。3学期は、今の学年のまとめをするとともに、新しい学年に向けての準備をする学期でもあります。

一人一人が、一日一日を大切に過ごし、自信をもって、卒業・進級の日を迎えてほしいと願っています。特に、6年生には、塚越小の良き伝統を下級生に伝え、大きな夢をもって巣立っていってくれることを期待しています。笑顔いっぱいな小学校生活のラスト・ランになるといいですね。

人は誰も、新年のこの時期には清新な気持ちになります。初詣に行く方は、これから始まる一年を展望しながら、手を合わせて夢を描いたりするものです。この絶好の機会を子供たちにも大切にさせたいと思います。夢は目標であり、夢を実現させるためには努力が必要です。子供たちが自分の夢を実現させようとするエネルギーは、子供の成長に好ましい影響を及ぼします。目標の設定は、頑張る力を生みます。目標が大きければ大きいほど、子供は自ら、その夢を実現するためのエネルギーを生み出すことにつながるのです。

さて、一年前の新年に描いた夢の実現状況はどうなんでしょうか。夢や目標を立てた以上は、それが実現できたのか、あるいは実現できなくても、どこまで到達できたのかを振り返ることは、とても教育的な意味があると思います。それは、努力した自分を自覚させることを通じて、自分自身を価値ある存在であると思うことにつながるからです。このことを自尊心や自己肯定感という言い方をします。そして、「自分ならできる」「きつとうまくいく」と思える自己効力感へとつながります。

本校では、研究主題を「自己効力感をもち、主体的に活動する塚小っ子の育成」とし、研究を進めています。蕨市教育委員会からの研究委嘱(R6~R8)を受け、今年度は最初の年です。

成長期の子供たちにとって、成功体験も大切ですが、未達成だった失敗体験も現実にはあります。しかし、自分の努力を自分で認めることができることは、自分自身を価値ある存在として認識することにつながります。大人になる過程において、このような体験を積み重ねることは、豊かな人生の実現への意味あるステップであると思います。

本年が、子供たちにとって、また、塚越小にとって良い年となるよう、教職員一同、夢(目標)の実現へ邁進してまいります。